

## 人事労務の最新情報をお届け！

月刊



2026

2

(発行) 中園総合労務事務所 代表 特定社会保険労務士 中園博章  
 〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町3丁目4-1 パークビル201  
 TEL 06-6430-6318 <https://nakazono-office.net>

いつも大変お世話になり誠にありがとうございます。

2026年がスタートしましたが、弊所のスローガンは『全面レベルアップで“信頼貯金”を増やせ』としました。ご存知のように、人事労務管理は世の中の変化やそれに伴う頻繁な法改正等により難化の一途と迫っています。そのような状況下では、社労士業務を一通りマスターしたつもりでも、次から次へと新しいやり方等が出てきて、すぐに陳腐化してしまいます。弊所においても、もちろん業務スキルに個人差はありますが、皆に共通して言えるのは、誰一人として安閑としていられないということです。お蔭様で今は毎年増収を続けてはいますが、この先、お客様をはじめ周囲の信頼を獲得し続けるためには、それぞれがそれぞれの持ち場、立場で、また、あらゆる業務においてレベルアップしなければ、いずれ業績も傾いてしまうでしょう。今年のスローガンはそのような危機感をスタッフ皆で共有したいとの思いから考えてみました。

さて、事務所のスローガンの傍ら、個人的に相談対応等の場面で意識したいと考えているのが、“これまでの常識を疑うことや、“発想を転換する”といったことです。例えば、これまででは、ある程度の組織規模になると新卒者を採用して育てたいと考えるのが自然な流れと言えましたが、当の新卒者は年々大手企業に就職する傾向が強まっており、若年層が減っていく中で大手志向が強まると、ますます中堅・中小企業にとって新卒採用の壁は高くなっています。そこで自他に問いたいのが、わざわざ高額化する初任給を支払ってまで従来型の新卒採用に取り組む必要があるのかという点です。(新卒採用を全く否定するわけではありませんが)

その他、弊所ではここ数年、ペーパレス化やDX化を進めてきましたが、その結果、紙の保管や排出量は激減しました。満杯だった書庫は気がつくと空きスペースだらけで、このままで、いずれ今の広さのオフィスが不要となり、勤務形態をハイブリット型(オフィスワークとテレワークを組み合わせた柔軟な働き方)等に変更することで、さらに省スペース化が進められると考えています。もちろん業種にもよりますが、大きなオフィスで大きな商いをするのではなく、いかに小さなオフィスで大きな商いをするかといった新たな効率重視の考え方方が今後ますます求められるのではないか…。そのような発想の転換を脳裏に刻みつつ、この1年、目の前の仕事を一つひとつ丁寧にこなしていきたいと考えています。

中園総合労務事務所 代表 中園博章

## CONTENTS

(注目 NEWS) 2026年4月施行 女性活躍推進法改正のポイント	2
(注目 NEWS) 子ども・子育て支援金の徴収が始まります	3
(労基関係) 賃上げ支援キャラバンが始まります！	4
(労基関係) 無期転換ルール及び多様な正社員等の労働契約関係の明確化	5
(労基関係) 有給休暇取得率が66.9%で過去最高に	6
(労基関係) モデル就業規則 最新版の内容は？	7
(雇用関係) カスハラ対策は、待ちの体制では間に合いません	8
(安衛関係) 高年齢者の労働災害防止のための指針案について	9
(保険関係) 協会けんぽの平均保険料率が34年ぶりに引下げ	10
2026年2月の税務・労務手続カレンダー	11